

令和5年度第62回京都府高等学校放送コンテスト兼

第70回NHK杯全国高校放送コンテスト京都大会決勝課題

決勝時に、自分の原稿に続いて決勝課題を読むこと。決勝課題を読む際に、改めて「課題」と言わないこと。

◎朗読部門決勝課題(作者、作品名は読まないこと)

彼は夜ごとに燭台しよくだいに火を付けると、もしかしたらこっそりこの青ざめた花屋の中へ、死の客人が訪れていはしまいかと妻の寝顔のぞを覗き込んだ。すると、或る夜不意あに妻は眼を開けて彼にいった。

「あなた、私が死んだら、幸福になるわね。」

彼は黙って妻の顔を眺めていた。そして、彼は自分の寢床へ帰って来ると憂鬱ゆううつに蠟燭ろうそくの火を吹き消した。

横光利一『花園の思想』

◎アナウンス部門決勝課題

北野天満宮では6月上旬から縁起物おおふくうめとされる大福梅の採取が行われます。収穫量は例年およそ2トンで採取した梅は樽に塩漬けにされます。境内の神域で育った梅は、学業成就・入試合格・災難厄除祈願など縁起物として人々に親しまれています。